



善正寺だより

掲示板法話

学ぶ喜びが 人生に幅と深さを教える

新年おめでとうございます。今年も、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の前年に当たり、多彩なお待ち受け行事(名古屋、および四日市)が行われます。単なる一過性のイベントでなく、人生の幅や深さを学ぶ一年にしたいと思えます。

私も齢六十歳を越えて「人生は長さだけではない。幅もあり深さもある」という金子大栄師の言葉を時々思い出すようになりました。人生の幅とは、日々出会う「縁深き人たちから学ぶことにより発見する世界です。「学ぶ」ということについて、お釈迦さまの言葉の中に味わい深いものを見つけました。

「愚かなものは生涯賢者のそばに仕えていても真実を知ることができない。ちょうど、スプーンがスープの味を知ることができないように」という言葉です。また、「学ぼうとしない人は牛のように老いる」ともお諭しです。せっかく人間の命を頂きながら、牛と同じでは悲しくなりますが、我々は「そんな話、耳にたこが当たるほど聞いているよ」と心の耳をふさがちです。「学ぶ」ことにおいて、大切な五つの姿勢があります。第一は、「素直に感動する」。道を歩い

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
TEL:0593-32-0733

ていたら、舗装の割れ目から小さな草花が咲いていました。こんなところにも小さないのちが息づいて、花を咲かせる恵みがあることにささやかな感動を覚えたことがあります。

第二は、「長所を認める」。誰にも長所短所があります。でも嫌いな人の長所は長所とは認めたくない私自身がいるのかもしれない。

第三は、「よいことのまねをする」。学ぶことは「真似ること」です。身近な人のよき習慣から学ぶことで人生が豊かになります。

第四は、「学びあう」。親鸞さま夫婦は互いに学びあうことで、念仏の教えが机上の学問でなく、日常生活の中で深められていったように思われます。我ら等しく学びたいことですね。

第五は、「愚かなことから学ぶ」。念仏者は愚者になりて往生す、という法然聖人の教えが我らの原点です。仏様という鏡に照らされれば、我ら皆愚者ということになります。愚者こそ阿彌陀如来のお目当てだという深さを教えられることで、日々新たな命の自覚と感動が生まれるのではないのでしょうか。

☆行事ご案内☆

《報恩講》講師:藤大慶師(大阪・ルンビニ園)

1月11日(月)午後1時半・夜7時

12日(火)午前10時

※お非時(食事):11日午前11時より12時頃まで
(手作り料理をどうぞ遠慮なくお召し上がり下さい)

※11日夜7時より音楽法要、琴とフルート・ピアノの共演・ご法話、お楽しみに!お誘い合わせてお参り下さい

☆元旦会:1/1朝9時より「正信偈」新年を家族揃ってお寺から
☆お朝事1/13日~16日毎朝7時より正信偈、音楽法要、

♪三重組コーラス♪

※1/30(土)夜7時半 小杉練習、2/20(第3土曜)夜小杉
3月から6月までの4回、午後1時半・智積西勝寺様で合同練習
予定4/25愛知県体育館お待ち受け、5/20三重組仏婦総会、
6/27四日市文化会館三重組お待ち受け、7/7名古屋別院音楽祭、
2010年度前半は大行事満載のために、陽光苑慰問はハーモニカ、フラダンス、手品の方に協力依頼。

◇キッズサンガ

12/31夜11時45分除夜の鐘、1/1朝9時元旦会(お年玉付)※毎日夕方5時鐘撞きは誰でもOK胎・ガム付。年中無休

◇一縁会テレホン法話059-354-14543分間法話聞けます

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。「つれづれ日記」が好評



三重組コーラス「御堂演奏会」7回目



明けましておめでとうございます



2009.12.5新春会(三重組)の報恩講。お年玉の贈り出し。

この一年、様々な出会いの「縁」を大切に、「いのち毎日新しい」人生のページとなるよう努めたいですね。

お悔やみ申し上げます

★中久保勇機・別名一(十二月十六日 亡・六十一歳) 合掌

十二月五日、庫裡に新しいお仏壇を迎え、「お内仏報恩講」をお勤めしました。僧侶五名を含む総勢五十三名が集い、宗祖御作法「音楽法要」に初挑戦。「簡単に親しみやすい」と好評。その後忘年会を兼ねた懇親会をしました。

坊守スケッチ

お正月が待ち遠しい

「もういくつ寝るとお正月」の歌いだしで始まる童謡を、老人ホームの慰問で歌った時のこと。司会者が「皆さんはお正月が待ち遠しいですか？私なんかこの歳になると、お正月が来てても少しも嬉しくない。孫にお年玉を上げなくてほならないし、忙しいだけですから」と言われた。最近はずいぶん新しい気分でお正月を祝う風習がなくなりました。お正月早々から仕事の人もいて、店も開いている一年中、馳走を食べているので、正月用に特別豪華版にする必要もない。年賀状も年々減少し、「明けオメ」と短縮メール。時節のケジメのない淋しい時代になった。「ホームの皆さんは、お正月が待ち遠しいですか？」と再び司会者が尋ねた。するとぼつりぼつりと手が上がり始めた。ここの入居者の殆どが、車椅子を必要とし、紙オムツを当てている。「お正月が待ち遠しい」と言った人は、何故周りに遠慮がちに手を上げたのか？私はその時、ハッと気付かされた。お正月が待ち遠しい人は、家に帰れる人なのだ！紙オムツを当てて歩けない人は、お正月が来てても、家へ帰れない場合が多い。そのことを考えて、帰れる人は遠慮がちに手を上げたのだ。「お正月は忙しいから嫌だ」というのは、元気な人の論理！単調な生活の中



で、お正月こそ懐かしい我が家に帰って、温かい家族団楽を味わう日が来ることを、どれほど指折り数えて待っているのか、その立場になってみないと分からない。帰りたいでも帰れないお正月にはせめて家族で面会に行つて、一緒に過ごしてもらいたいと思う。私の母も晩年、一人暮らしをしていた。一人のお正月は淋しいからと、私は年末から迎えに行つた。しかし母はお寺に来るのを嫌がった。何故なら、年末年始はお寺の仕事は超多忙。人の出入りも多い。自分のこともできない体になって、娘の家族に迷惑をかけるのを好まなかった。だが晩年数年、母は我が家でお正月を過ごした。年始客が多い時には、庫裡でじっと寝ていた。正月気分も抜けて、一年の最大行事報恩講の準備に取り掛からねばならなかった。再び母の荷物を持って一人暮らしの家に送って行く時の淋しそうな顔を、私は一生忘れることはできない。私は何と親不孝な娘だろうか？もういくつ寝るとお正月の歌のように、自分を待つ人がいる家に帰れる嬉しさは誰しも同じ。また死も然り！先に亡くなられた大切な人が待っている『お浄土』に、私もやがて迎えてもらえる日が来る。そう信じてこゝろが出来たならば、どんなに心強いだろうか？安らぎとは、待つ人の元に還れる安心感ではないか？もしかしてお浄土で母に会えたら「淋しい思いをさせてごめんね。あの時の介護の経験が、今の私の仕事の原動力になっている！」と報告しよう。

ろうか？安らぎとは、待つ人の元に還れる安心感ではないか？もしかしてお浄土で母に会えたら「淋しい思いをさせてごめんね。あの時の介護の経験が、今の私の仕事の原動力になっている！」と報告しよう。

☆寄稿

- 四日市市 川崎孝一
☆配られる法語カレンダー掛紐のむらさき真田 年年歳歳
- ☆御堂前 根方に仰ぐ「水つ吹き」の名に負う鴨脚樹 黄葉散り初む
- ☆初春を 大慈に包まれ生かさるる 八十路の春を 一世の春を
- 四日市市 釈弘蓮
☆柿食べて 甘いもんうまいと 阿弥陀さんと 笑う
- 小三重組コーラス♪
☆一月三十日(土)夜小杉練習
☆二月二十日(土)夜小杉練習
《智積西勝寺様での合同練習4回》
※3月9日(火)午後1時半
※4月7日(水)午後1時半
※5月6日(木)午後1時半
※6月8日(火)午後1時半
小杉は午後1時に、車分乗して出発
《平成二十二年度前半コーラス行事》
☆四月二十五日(日)東海教区お持ち受け法要・愛知県体育館・組曲正信偈
☆五月二十日(木)午後、三重組仏婦総会(下海老明林寺)音楽法要
☆六月二十七日(日)三重組お持ち受け法要・四日市文化会館・音楽法要、「しんらんさま」念仏

※陽光苑慰問、2010年前半は手品、ハーマカ・フラダンスの方に協力依頼。大きな行事終了後、再び慰問します。
※7月31日(土)夜から小杉の練習が従来通り毎月最終土曜日夜あります。
キッズサンガ・杉の子合唱団
◇十二月三十一日夜十一時四十五分より「除夜の鐘」誰でもつけます
◇元旦会(がたんえ)朝九時より本堂で正信偈(お年玉付き)・家族揃つてどうぞ。夕方五時の鐘撞きは毎日。

☆ホットニュー、ス☆
☆新しくなった庫裡の仏壇で十二月五日(土)夜「お内仏報恩講」。総勢53名が集い、宗祖讃迎作法《音楽法要》をお勤め！初めての人も「すぐ覚えられる」と好評！忘年会も兼ね、お酒、ぜんざい、寿司等、和気藹々で賑やかひととき！
☆「報恩講」一月十一日(月)午後と夜/十二日(火)午前 講師・藤大慶先生(大阪)特に十一日夜は音楽法要、琴ルート「春の海」、フルートとピアノの共演があります。お楽しみに！
☆一月十三日から十六日まで毎朝七時より「報恩講のお朝時」音楽法要します
カンパ有難う☆
KH様・山中つや子様・木村みどり様・柴田美津代様・S様、他お志・切手有難うございました。
☆ 編集子より ☆
「善正寺だより」第一九三号をお届けします。◇今年には各種お持ち受け行事を通じて「親鸞聖人のお心に立ち返る」一年でありたいと願っています。合掌。

明けましておめでとうございます。今年も皆様にとぞどんな年になりそうですか？私は超多忙な年になりそうです。

親鸞聖人の回遠忌お待ち受け法要が、**名古屋東海峡阜教区(愛知県体育館)**、**6/27三重组(四日市文化会館)**

で勤まります。両方共音楽法要ですが、**6/25**は組曲正信偈、**6/27**は宗祖讃仰作法と内容が全く違うので戸惑っています。短期間の少ない練習量で、お寺の垣根を越えて結成された三重组コーラス、まとめ役の人として責任の重大さを痛感します。JリーグのMは

「苦しい時に立ち上がるには、人の心がひとつになることが大切」と言われました。その言葉を信じてピンチを

チャンスに変えたいと思いました。50年に一度の親鸞様

の法要に積極的に参加して喜びを分かち合う仲間がいることは有難いことなのだを考え直しました。教行信証を

書き終えられた親鸞様は、従来の漢字ばかりのお経では庶民に教えが伝わらないので75歳から85歳にかけて和讃を著されました。七五調の歌はリズムに乗せてたち

まち大流行、その時代の歌声運動のような形で浄土真宗の教えが広まったと五木寛之氏は書いています。

この度の音楽法要が平成の歌声運動になることを願っています。ところで、**7/1(月)**に**日経報恩講(藤**

大慶師)が勤まります。日日夜夜は音楽法要、琴とフルートの「春の海」、フルートピアノの協演、皆様どうかお

誘い合わせしてお参り下さいます。合掌

善正寺坊守 拝

平成二十二年一月